



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7885 URL <https://www.takano-net.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大原 明夫 TEL 0265-85-3150  
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,540	20.9	△62	—	12	△64.6	△20	—
2023年3月期第1四半期	4,582	△3.9	△14	—	35	△69.2	11	△82.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 73百万円 (△39.9%) 2023年3月期第1四半期 122百万円 (117.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△1.34	—
2023年3月期第1四半期	0.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	37,709	30,486	80.8	2,002.85
2023年3月期	39,380	30,686	77.9	2,016.00

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 30,486百万円 2023年3月期 30,686百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,200	19.3	300	49.2	400	43.4	300	65.8	19.71
通期	25,900	12.4	1,250	25.1	1,400	26.9	1,000	20.6	65.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	15,721,000株	2023年3月期	15,721,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	499,420株	2023年3月期	499,420株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	15,221,580株	2023年3月期1Q	15,221,580株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の見通しの前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、経済活動への影響がほぼ解消される一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の影響、不安定な為替相場に大きく左右されるものとなりました。今後についても、電気料金の高騰や、物価上昇にともなう人件費の上昇、中国での景気の悪化の長期化など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において当社では、主に半導体関係の需要増に応えるべく、生産体制の整備・事業構造のシフトに努めるとともに、新規事業として取り組んできた体外診断用医薬品市場への参入準備などに注力してまいりました。

この結果、主に産業機器事業および検査計測機器事業の売上増加により、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,540百万円で、前年同四半期比958百万円、20.9%の増収となりました。

一方、利益面につきましては、増収にともない粗利益額が増加したものの、内部統制強化や新規事業参入準備にともなう間接部門人員の人件費などの固定費増加の影響等により、営業損失62百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）、経常利益12百万円（前年同四半期比22百万円、64.6%の減益）となりました。これに法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失20百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円）となりました。

## 【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期との比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりです。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	2,333	2,359	1.1%	△60	△180	－%
検査計測機器	1,093	1,842	68.5%	△25	△17	－%
産業機器	605	730	20.6%	76	106	38.9%
エクステリア	223	227	1.7%	△8	1	－%
機械・工具	325	379	16.7%	11	14	19.0%
報告セグメント計	4,582	5,540	20.9%	△6	△75	－%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△8	13	－%
合計	4,582	5,540	20.9%	△14	△62	－%

## (住生活関連機器)

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司および株式会社ユーキ・トレーディングで構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、働き方の変化に対応した新たなオフィスの価値を創造するオフィス家具の開発・生産に注力しつつ、体外診断用医薬品市場への新規参入準備を進めてまいりました。

この結果、売上高は2,359百万円で前年同四半期比26百万円、1.1%の増収となりました。一方、利益面では固定費の圧縮には努めたものの、棚卸資産の評価減や電気料金等の経費増により粗利率が悪化し、セグメント損失180百万円（前年同四半期はセグメント損失60百万円）となりました。

## (検査計測機器)

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶や半導体・高機能フィルム用の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、引き続き設備投資需要が拡大している半導体関連検査装置や電池部材向け検査装置の開発、販売に注力してまいりました。

この結果、売上高は1,842百万円で前年同四半期比749百万円、68.5%の増収となりました。一方、利益面では半導体検査装置の売上は好調であったものの、一昨年度に受注した利益率の低いFPD向け検査装置が売上の大半を占めていたことにより、セグメント損失17百万円（前年同四半期はセグメント損失25百万円）となりました。

## (産業機器)

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司およびTakano of America Inc.で構成され、主に電磁アクチュエータならびにユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、半導体製造装置業界の好調を受け、電磁アクチュエータの増産体制の整備ならびに販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は730百万円で前年同四半期比124百万円、20.6%の増収となりました。利益面では、増収にともなう粗利益額の増加により、セグメント利益は106百万円（前年同四半期比29百万円、38.9%の増益）となりました。

## (エクステリア)

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、新型コロナウイルス感染症による営業活動の制約がなくなり、需要が旺盛なレストランやホテル業界向けの販売促進活動に注力してまいりました。

この結果、売上高は227百万円で前年同四半期比3百万円、1.7%の増収となりました。利益面では、利益率の改善による粗利益の増加に加え、固定費の抑制に努めた結果、セグメント利益は1百万円（前年同四半期はセグメント損失8百万円）と黒字転換しました。

## (機械・工具)

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業です。

当セグメントにつきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の需要掘り起こしに注力してまいりました。この結果、売上高は379百万円で前年同四半期比54百万円、16.7%の増収となりました。セグメント利益は14百万円（前年同四半期比2百万円、19.0%の増益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末と比較し、1,643百万円減少の23,455百万円となりました。これは主に、売掛代金の回収が進んだこと等により現金及び預金が610百万円、商品及び製品が83百万円それぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が2,015百万円、仕掛品が317百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は前連結会計年度末と比較し、27百万円減少の14,254百万円となりました。これは主に、保有する有価証券の時価評価額の上昇により、投資有価証券が113百万円増加した一方、減価償却費の計上等により有形固定資産合計が97百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が33百万円減少したこと等によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は37,709百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,671百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末と比較し、1,485百万円減少の6,207百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が642百万円、当四半期中の賞与の支給により賞与引当金が278百万円、検査計測装置の大口物件の売上計上により契約負債が500百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は7,223百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,471百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比較し、200百万円減少の30,486百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が81百万円増加した一方、利益剰余金が親会社による配当金の支払い等により294百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.9%から80.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期連結累計期間および通期の業績につきましては、現時点で、2023年5月12日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますことをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,967,014	8,577,299
受取手形、売掛金及び契約資産	9,933,260	7,918,223
商品及び製品	882,672	965,925
仕掛品	4,280,979	3,963,491
原材料及び貯蔵品	1,820,585	1,829,848
その他	214,275	200,686
流動資産合計	25,098,788	23,455,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,356,064	3,275,600
機械装置及び運搬具（純額）	1,061,906	1,002,464
土地	4,236,283	4,236,283
その他（純額）	693,164	735,212
有形固定資産合計	9,347,419	9,249,561
無形固定資産		
のれん	251,928	239,332
その他	175,459	180,091
無形固定資産合計	427,388	419,423
投資その他の資産		
投資有価証券	3,315,548	3,428,977
その他	1,198,064	1,162,500
貸倒引当金	△6,223	△6,221
投資その他の資産合計	4,507,389	4,585,256
固定資産合計	14,282,197	14,254,241
資産合計	39,380,985	37,709,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,761,288	1,172,955
電子記録債務	2,372,075	2,317,654
未払法人税等	80,487	12,864
契約負債	1,805,347	1,304,718
賞与引当金	493,553	215,271
製品保証引当金	15,610	18,377
その他	1,164,486	1,165,818
流動負債合計	7,692,847	6,207,659
固定負債		
長期借入金	198,410	183,420
退職給付に係る負債	544,769	550,900
資産除去債務	4,637	4,647
その他	253,657	276,570
固定負債合計	1,001,474	1,015,539
負債合計	8,694,321	7,223,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,360,246	2,360,246
利益剰余金	25,925,219	25,630,759
自己株式	△259,302	△259,302
株主資本合計	30,042,062	29,747,602
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462,408	544,354
為替換算調整勘定	185,531	199,358
退職給付に係る調整累計額	△3,338	△4,798
その他の包括利益累計額合計	644,600	738,914
純資産合計	30,686,663	30,486,517
負債純資産合計	39,380,985	37,709,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,582,055	5,540,382
売上原価	3,500,852	4,338,354
売上総利益	1,081,203	1,202,028
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	300,301	364,903
賞与引当金繰入額	72,630	69,212
退職給付費用	14,406	15,605
研究開発費	175,541	164,052
その他	533,019	650,580
販売費及び一般管理費合計	1,095,899	1,264,355
営業損失(△)	△14,696	△62,327
営業外収益		
受取利息	4,563	4,078
受取配当金	20,626	25,103
為替差益	15,984	10,948
固定資産売却益	419	16,600
その他	10,796	20,323
営業外収益合計	52,390	77,053
営業外費用		
支払利息	554	539
固定資産除却損	45	21
コミットメントフィー	1,682	1,682
その他	122	6
営業外費用合計	2,404	2,250
経常利益	35,289	12,475
税金等調整前四半期純利益	35,289	12,475
法人税、住民税及び事業税	15,667	17,262
法人税等調整額	8,504	15,684
法人税等合計	24,171	32,946
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,117	△20,471
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,117	△20,471

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	11,117	△20,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	65,343	81,946
為替換算調整勘定	46,635	13,827
退職給付に係る調整額	△266	△1,460
その他の包括利益合計	111,711	94,313
四半期包括利益	122,829	73,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,829	73,841
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,294,537	1,093,576	605,721	223,855	325,130	4,542,822
その他の収益	39,233	—	—	—	—	39,233
外部顧客への売上高	2,333,771	1,093,576	605,721	223,855	325,130	4,582,055
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,297	139	13,357	2,880	184,375	226,048
計	2,359,068	1,093,715	619,078	226,735	509,506	4,808,104
セグメント利益又は損失(△)	△60,498	△25,326	76,694	△8,777	11,830	△6,078

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	△6,078
セグメント間取引消去	△8,617
四半期連結損益計算書の営業損失	△14,696

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連機器	検査計測機器	産業機器	エクステリア	機械・工具	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,316,763	1,842,864	730,588	227,574	379,373	5,497,163
その他の収益	43,219	—	—	—	—	43,219
外部顧客への売上高	2,359,982	1,842,864	730,588	227,574	379,373	5,540,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	32,182	2,301	16,642	937	92,054	144,119
計	2,392,165	1,845,165	747,231	228,511	471,427	5,684,501
セグメント利益又は損失(△)	△180,424	△17,374	106,509	1,318	14,074	△75,896

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	△75,896
セグメント間取引消去	13,569
四半期連結損益計算書の営業損失	△62,327

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来各セグメントに配分していた新規事業に係る費用について、事業化の見込みがたったことにより管理区分の見直しを行い、報告セグメントの区分を「住生活関連機器」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。